

交野市 JR 河内磐船駅・京阪河内森駅基本構想の概要

1. 経緯

平成 14 年 3 月 8 日作成

平成 14 年 3 月 8 日公表

2. 交野市の概要

人口 76,916 人 世帯数 25,695 世帯(平成 12 年国勢調査) 市域面積 25.55km²

高齢者数 9,124 人(11.9%)(全国平均 17.3%)

身体障害者数 2,015 人(2.6%)(全国平均 2.9%)

3. 旅客施設及び重点整備地区の概要

JR 片町線河内磐船駅(1 日平均利用者数 22,990 人)(平成 13 年度)

京阪交野線河内森駅(1 日平均利用者数 10,376 人)(平成 13 年度)

重点整備地区の面積 約 55ha

主な施設 保健福祉総合センター、私部公園、総合体育施設

重点整備地区の選定理由

JR 河内磐船駅は本市域で一番乗降客が多く、今後も増加すると予測できるとともに、駅周辺には福祉の拠点である保健福祉総合センター、運動休養施設の私部公園、総合体育施設が立地している。また、近接する京阪河内森駅もこれら施設の最寄駅で、JR との乗換駅でもあり本市の交通の利便性を高めている。よって、当該 2 駅を特定旅客施設として選定するとともに、周辺の各施設を含む区域を重点整備地区と位置づけた。

4. 事業の概要

基本構想の目標年次 平成 14 年度に着手、平成 22 年までに完成予定

公共交通特定事業

- ・ JR 河内磐船駅について改札口から各ホームに至るエレベーターの設置、ベビーベッドを併設した障害者用トイレ、視覚障害者誘導用ブロック、誘導サイン等の整備、券売機の改善の検討

- ・ 京阪河内森駅について、道路から各ホームに至る経路について、垂直方向のバリアフリー化、ベビーベッドを併設した障害者用トイレ、案内表示の整備、券売機の改善の検討

道路特定事業

- ・ 歩行者の安全確保と路面の改良などの整備
- ・ 階段部分のスロープ化などバリアフリー化の推進
- ・ 歩道の有効幅員の確保、段差や勾配の改善、視覚障害者の誘導対策

交通安全特定事業

- ・ 視覚障害者用付加装置等信号機の改良・高度化の実施
- ・ 違法駐車を取り締まりの強化及び防止に関する広報・啓発活動の実施

その他の事業

- ・主な施設の視覚障害者用誘導ブロック、案内表示の整備

5. 利用者の意見の反映

基本構想策定連絡協議会に以下の団体からメンバーが参画し、4回にわたって連絡協議会で議論を行った。

- ・交野市身体障害者福祉会
- ・交野市老人クラブ連合会
- ・いわふね文化ゾーン会議
- ・きさべ文化ゾーン会議

バリアフリー整備に関する意向調査の実施

両駅から概ね1km以内に居住する65歳以上の高齢者1,550名、身体障害者299名、妊産婦147名、計1,996名に対し、アンケート調査を実施し、928通（回収率46.5%）の回答を得た。

バリアフリー実態点検調査の実施

高齢者、身体障害者等の参加のもと、両駅舎及び周辺道路のタウンウォッチングを実施し、終了後、問題箇所の確認とバリアの内容の把握を行った。

素案の公表と市民意見の募集

素案に対する市民意見を把握するため、2月8日から2月20日まで、市役所3箇所において縦覧を行い、市のホームページに素案を掲載するとともに、タウンウォッチング参加者に素案を送付し、意見を求めた。

反映された主な事項

- ・意向調査及び実態点検調査において、鉄道駅の券売機についての意見を受け、両駅の特定事業に、券売機の改善の検討を盛り込んだ。
- ・子ども連れ利用者の意見を受け、障害者用トイレにベビーベッドを併設することを盛り込んだ。

6. 法第6条第4項に定められている関係する機関との協議

公共交通事業者等

協議相手機関	西日本旅客鉄道(株)
協議成立年月日	平成14年3月5日
協議相手機関	京阪電気鉄道(株)
協議成立年月日	平成14年3月5日

道路管理者

協議相手機関	大阪府枚方土木事務所（府道管理者）
協議成立年月日	平成14年3月4日
協議相手機関	交野市道路管理者
協議成立年月日	平成14年3月5日

都道府県公安委員会

協議相手機関	大阪府枚方警察署（大阪府公安委員会）
--------	--------------------

協議成立年月日 平成 14 年 2 月 28 日

7 . その他

策定にあたっては、平成 13 年 11 月 30 日に公共交通事業者へ、また、12 月 10 日に道路管理者及び交通安全事業者へ基本構想の案の作成依頼を行い、12 月 27 日に各事業者から案の提出を受けた。